

▶鎌で稲を刈る  
親子



Sunday

9/27

## 恵みの秋♪収穫の喜び♪

### 平野棚田で稲刈り体験

秋晴れのもと、平野棚田米保存協議会（小園敏則代表）主催の稲刈り体験会が平野地区で開催されました。平野地区は、10戸の農家が棚田（約7ha）で米を栽培、平成23年から同協議会を結成し「平野棚田米」の販売も行っていきます。当日は、親子連れなど58人が県内外から参加し、福岡から参加した女性は「学校で学べないことを子ども達に体験させたくて」と話されました。

参加者はたわわに実った「夢しずく」を刈り取った後、棚田米のおにぎりやよし鍋汁など「田舎の味」を堪能しました。

▶手作り料理を味わう  
参加者



## 地域の協力で

### 耕作放棄地をひまわりでいっぱいにする☆

9月下旬から石州分地区の畑の一角でひまわりが見ごろを迎えました。石州分がんばろう会（代表荒木勝敏さん）が、今年から耕作放棄地の景観対策としてひまわりの植栽に取り組んだものです。

「地区の若者に呼びかけ、みんな文句も言わずに取り組んでくれました（笑）ウォークラリーなどで多くの人を通るので、ぜひ見て欲しい」と陣内成和さん。荒れた畑が美しく“はつらつ”と咲くひまわりで綺麗に生まれ変わりました。

Tuesday

9/29



▲道行く人を楽しませた満開のひまわり



Thursday

10/1

## 秋の夜、佐賀ん酒でほろ酔い気分

### 1万人で乾杯プロジェクト達成

平成25年に佐賀県が制定した「佐賀県日本酒で乾杯を推進する条例」をきっかけに、佐賀酒の更なる認知向上を目指し、『チャレンジ！佐賀県1万人で乾杯プロジェクト』が開催されてきました。

3回目の今回は県内600か所、市内では10か所以上の飲食店などで開催され、あいぱれっと会場には50人以上が集いました。19時30分に佐賀のお酒で一斉に乾杯。参加者は美味しいお酒や、池田隆臣さんのライブに酔いしれていました。県内では、10,592人の参加を得て、目標の1万人を初達成しました。



## ～南三陸町と災害時における相互応援協定～

### 緊急時は“強い絆”でお互いに支援を！

宮城県南三陸町の佐藤仁町長を多久市役所にお招きし、災害時における相互応援協定を締結しました。これは、大災害が発生した際に職員の派遣や物資の支援、被災住民の受入などを相互に応援するもので、多久市から提案し、九州では2例目となります。

平成24年10月以降、多久市から同町に延べ7人の職員を派遣しており、佐藤町長は「これまで厚い支援をいただき感謝しています。多久市で大災害が発生した際には、ノウハウを持った職員を派遣できます。これを機会により一層絆が深まれば」と話しました。

Tuesday

10/6



▲応援協定締結後の横尾市長（左）と佐藤町長（右）